



日本サーバスのご案内

「サーバス (SERVAS)」とは？

- サーバス (SERVAS) は英語の "to serve" (奉仕する) を意味する 에스ぺ란토 語です。
- 国際連合で非政府団体 (NGO) として認められている国際的な民間親善団体です。

サーバスの目的

- 異なった文化や伝統をもつ国のサーバス旅行者 (サーバス会員) が、個人的な交流を通して世界平和の構築を助け、国際親善と異文化理解を推進させ、相互寛容の精神を学ぶことを目的としています。社会運動でも政治運動でもありません。

サーバスの設立

- 第二次世界大戦後の 1949 年、デンマークの「Folk High School」に参加していた米国人の良心的兵役忌避者 Bob Luitweiler と若者たちが、平和を求める志をもつ人々と知り合うという趣旨から「Peace-builders」の名のもとに work-study-travel プログラムを始めました。
- この活動は戦前から平和運動を進めていた人々を巻き込んでヨーロッパ、アメリカ、そしてインドなどに広がりました。
- その後、日本を含むアジア各国、アフリカ、オセアニアにも組織が生まれ、1972 年にスイスで SERVAS INTERNATIONAL として法人化されました。
- 現在世界 100 ヶ国以上に 15000 世帯の会員がいます。(2021 年 6 月現在)

日本サーバス

- 日本では 1962 年に「日本サーバス友の会」として誕生しました。
- 1982 年、「日本サーバス」SERVAS JAPAN に改称しました。
- 現在、会員数は約 210 世帯です。
- 会長、副会長、会計、IT、ユース等の本部役員が全体の総括を行い、海外のサーバス組織と連絡をとっています。
- 日本国内を 7 つの支部 (北海道、東北、関東、東海・北陸、近畿、中国・四国、九州) に分け、それぞれ支部長、副支部長等の役員をおき活動しています。

サーバスの会員の活動

1) ホスト会員としてサーバス旅行者を受け入れる

- サーバス旅行者認定状 (Servas Letter of Introduction 略称 LOI) を所持した会員を、原則として 2 泊 3 日無償で受け入れます。

- 特別な客人として接待するのではなく、ありのままの生活の中でお互いの文化、伝統、慣習など語りあい、相互理解を深めます。もちろんホストの都合で引き受けられない場合は断ることができます。
- 諸事情で自宅への受け入れが出来ない会員は、Day Host として旅行者を案内したり一緒に食事したりすることも可能です。

2) トラベラー会員としてサーバス旅行をする

- 所属の支部長を通して LOI の発行を受けると同時に、訪問先の国のサーバスホストを ServasOnline(SOL)で検索して、自分で先方と連絡を取り合います。

3) 会員相互の交流

- 支部の会議や例会などへ出席し、サーバス旅行者の受け入れやサーバス旅行の体験交流、開催地でのフィールドワークなどで交流を深めています。
- 本部や各支部では会報を発行することにより会員相互の情報交換を行っています。
- 国際会議に参加して、世界の人々と親しく交流する活動もあります。外国語の実践的な使い方を学びたい方には非常に有益な機会となるでしょう。

サーバスへの入会

お問い合わせや入会申し込みは、日本サーバス・ホームページの[会員になろう](#) の手続きによりご対応下さい。その概略を以下に示します。

- 1) Contact Us の電子メールフォームで、氏名、郵便番号、住所、電子メールアドレス、電話番号及び入会希望の旨をお送り下さい。
 - 2) 支部長又は面接担当者の面接を受けていただきます。
 - 3) 面接の結果をふまえて、入会金 2,000 円、年会費 3,000 円(学生は 2,000 円)を納入されますと会員となります。
- サーバス旅行者認定を申請されるときは別途、LOI スタンプ代(1 年間有効)として会員一人 3,000 円(例外的にホスト会員にならないトラベラーは 6,000 円)が必要です。

詳しい情報

更に詳しい情報は、下記のページをご覧ください。

<http://www.servas-japan.org/index-01.html>